



2月8日は、「世界反人身売買、祈りと黙想と行動の日」、そして聖ジュゼッピーナ・バキータの記念日です。

聖ジュゼッピーナ・バキータをご存知ですか？  
スーダン出身の聖バキータは、7歳で誘拐され、  
奴隷として売られ、スーダンとイタリアで働いた後に  
自由になり、洗礼を受けて、カノッサ修道会修道女と  
なり、2000年に列聖されました。



今年のテーマは「人身取引とともに反対しよう」です。  
わたしたちのアクションをとりまとめて、力を結集することが  
必要です。「人身取引とともに反対しよう」のテーマを通して、  
それぞれができることに応じながら、この日の祈りと黙想と行動に  
参加することが呼びかけられています。

- 【参照】 国際タリタクム [ウェブサイト](#)  
カノッサ修道会本部 [ウェブサイト](#)  
カノッサ修道会 [ウェブサイト](#)  
『使徒的勧告 喜びに喜べ 現代世界における聖性』32番

神は、人がみな、聖なる者、幸せな者となることを望んでおられます。父である神の愛に信頼することによって、わたしたちはあらゆる形態の束縛から解放され、人間の偉大な尊厳に気づき、本当の自分自身になります。教皇フランシスコは、このことが聖ジュゼッピーナ・バキータのうちにみられると強調されます。

祈りましょう。

聖ジュゼッピーナ・バキータ、あなたは、わずか7歳で誘拐されて奴隷として売られ、残酷な主人たちからひどい痛みを受けました。やがて、あなたは、人間ではなく、神こそがすべての人間の、また、すべての人生の主人であるという深い真実を理解するようになりました。

聖ジュゼッピーナ・バキータ、父である神の愛を知らず、自分の尊厳を守るこのできないすべての人のとりなし手となってください。

囚われの身となっている鎖が断ち切られるように、憐れみ深い神に取り次いでください。

神ご自身が、現代の人身取引といわれる鎖によって脅かされ、傷つき、不当な扱いをされているすべての人を解放して下さいますように。

不当な束縛から解放された人々に慰めがもたらされ、かれらの傷が癒され、イエスを希望と信頼をもって見つめることができるよう導いてください。

わたしたちが周囲に生じている出来事に対して無関心に陥らず、目を開き、尊厳と自由を奪われた多くの兄弟姉妹の悲惨さと傷を見ることができるよう。

そして、助けをもとめる人々の叫びを聞くことができるように、わたしたちのために祈り、とりなしてください。

わたしたちの主、イエス・キリストによって、アーメン。